

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成29年度 石狩川下流河川総合学習支援業務
調査船等を活用した学習支援活動 第1回



- ◇平成29年6月28日（水） 9:30～11:30
- ◇参加者 札幌市立茨戸小学校 3年生
児童 34名 教諭 3名

【学習コース】 弁天丸茨戸川上流コース（茨戸川艇庫船着き場→花畔大橋→水生植物群落 往復）

【学習行程】

時刻	学習内容	
	1班	2班
9:30～9:40	集合、挨拶、伝達事項等	
9:40～10:30	弁天丸乗船	植物観察
10:35～11:25	植物観察	弁天丸乗船
11:25～11:30	集合、挨拶、伝達事項等	

【学習内容】

- ◇弁天丸
 - 船上から川や鳥、植物などの自然を観察
 - カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習
- ◇植物観察
 - 川の近くに生息する植物を観察
 - 笹舟つくりと笹舟流し

【参加者からのアンケート】

- ◇弁天丸で行った茨戸川や石狩川で、あなたが発見したものは何ですか
 - あおさぎ、釣りをしている人
 - 橋の下に鳥の巣があった
 - かわうを見つけた。色は黒でした
- ◇体験学習に参加して、もっと知りたいと思ったことは何ですか
 - 弁天丸はいつ作られたのか知りたい
 - どんな魚がいるのか知りたい
 - 船をとめているところに中を見たかった

◇茨戸川や石狩川に次に来たとき、やってみたいと思うことは何ですか
わかさぎつりをしたい
弁天丸を運転してみたい
もう一回船に乗って景色を見たい

【実施状況写真】



ライフジャケットを着用していざ乗船



いつも通っている橋の下をくぐります



ミッション、クリアできたかな？



資料で捷水路について学ぶ



植物の名前の由来について解説



自分で作った笹船を流しました